



ついに日本の医療は崩れてしまった

奈良県で、分娩中に意識不明になった妊婦が19の医療機関に断られ、20件目でやっと受け入れられ手術を受け、男児を出産したが死亡してしまったという誠に悲劇的な事件が起きてしまいました。なぜこのような悲惨な事件が起きてしまったのでしょうか。昔から「医療機関のたらい回し」ということは時々ニュースで取り上げられたことがあります。今回ほど多くの医療機関が断った事は無いと思います。

ある新聞のコラムニストは「自分の身内だったら拒否したであろうか」と書いておりました。これほど実態を知らない無責任な発言は無いと思います。身内のものはたとえ治療結果が思わしくなくても警察に訴えたりすることはありません。

19医療機関のうち8病院は満床であったとのこと。では残りの病院はなぜ断ったのでしょうか。それはトラブルに巻き込まれなくなかったからです。警察に取り調べられたりしなくなかったからなのです。

分娩中に母体が意識不明になったということは極めて危険な状態です。最悪の場合母子ともに不幸な転帰をたどることもあるでしょう。うっかり引き受けて不幸な転帰になった場合、医者の数が少なかった、スタッフが足りないのに無理して手術をした、十分な器械設備がないのに大病院に搬送しなかったなど非難を浴び、警察の取り調べを受けるような事態を避けたのでしょうか。「君子危うきに近寄らず」「触らぬ神にたたりなし」と考えたのではないかと思います。

昨年2月福島県立大野病院の産婦人科医師が診療中に警察に逮捕されるという事件がありました。この事件はまさに医者に衝撃を与えました。医師会をはじめ指導的立場の人間は、「萎縮医療（困難な事例に手を出さないこと）」に陥るのではないかと危惧しておりました。残念ながら危惧していたことが現実になってしまいました。

近年、マスコミを中心に医師をはじめとした医療機関の不祥事を探し出し悪者にする風潮が蔓延しています。あまりにもいきすぎると、医師や看護師などの意欲をそぎ日本の医療を崩壊させる恐れがあります。

出産時に母体が死亡した経験のある医師の言葉は身にしみます。「母体は死亡率の高い羊水栓塞で死亡しました、大切な患者さんを失って苦しい思いをしているときに、医療事故を疑われて、家族に殴られ、警察には6時間に及ぶ取り調べを受けた。これでもかと打ちのめされて、産科をやめた。」とのこと。

また、ある女医の言葉です。「忙しくても、収入が低くてもやっていける。しかし、寝ずに働いて患者から暴言を浴びせられたり、訴えられたりすることには耐えられない。」この女医さんは診療をやめたそうです。

今、勤務医がどんどんやめて開業することが問題になっています。開業医の方が収入がいいから勤務医を辞めてしまうのだ。開業医の診療報酬を削って、病院を高くすれば勤務医は開業しなくなるのだという意見があります。果たしてそうでしょうか。最近開業する医師の多くは「疲れた。自分の時間がほしい。」と言っています。決して収入の事だけを考えているのではないのです。私は医師ですから、ほとんどの医師は倫理観の高い、また理想も高いものと思っています。確かに一部の医師に不正をはたいたりするものがあります。また勉強不足のものもいるのは事実です。しかし、現在の風潮はあきらかに行きすぎています。国民全体で考えないと日本の医療はとんでもないことになります。少なくとも経済財政諮問会議の連中が主張する「アメリカの医療」に近づくことは阻止しなければなりません。是非理解してほしいと思います。

また、医療事故に関しては、警察が介入しない、第三者による公正な判断を下す機関を早急に構築する必要があると思います。

日本の医療を守るのは国民の皆さんと医師会だけです。

院長 小松 満

冷え性に負けるな！



1～2月は1年のうちで最も寒さが厳しく、冷え性の方にはつらい時期ですね。患者様のなかにも冷え性で困ってる方、多いんじゃないでしょうか？

今回は、日常生活の中で手軽に出来る「冷えを防ぐコツ」を、お話したいと思います。まずは入浴です。体温より少し高い38～40℃くらいのお湯に入るようにしましょう。ぬるめのお湯にじっくり入れば、身体の芯が温まり汗も出て代謝が良くなり湯冷めも防げます。入浴中は全身浴より半身浴（腰湯）がお勧めですが、肩や腕が寒くないようタオル等で保温を忘れないでください。入浴後は、すぐ靴下やズボンをはいて、下半身から体温が逃げないようにしてください。



※温め効果のある入浴剤の作り方※

- ・ **塩湯** 家庭の浴槽に20～30gの塩を溶して出来上がり。
皮膚が弱い方は出る時に洗い流してください。
ひばゆ
- ・ **干葉湯** 大根の葉を水洗いして日当たりの良い場所に吊し、カラカラに乾燥させて使ってください。

他にも、ミカンやレモンの皮・柿や桃、びわの葉を乾燥させると保温効果のある入浴剤ができますよ。試してみてください。

食べ物にも、身体を冷やすものと温めるものがあります。食品選びの目安にしてみてください。

- ・ 夏（暑い土地）に出来る野菜は「冷」
- ・ 冬（寒い土地）に出来る野菜は「温」

冷と温のバランスを取りながら食べられる、鍋料理や煮込み料理は、寒い冬には欠かせませんね。

また、多くのスパイス（唐辛子、コショウ、しょうが、しそ、山椒など）に、身体を温める効果がありますよ。

新陳代謝を高め、冷え性改善の参考になればと思っています。試してみてください。

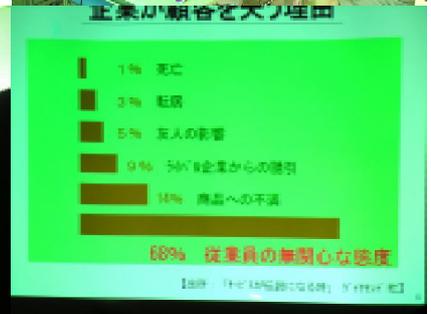
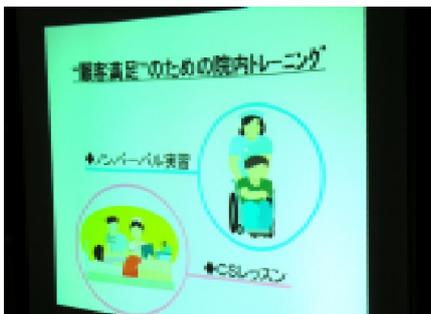
看護師 伊藤 範子

毎月第1水曜日の午後はこんな活動もしています！

接遇研修会



10月4日（水）に接遇の研修会を行いました。講師には、大塚製薬の方に来て頂きました。東京ディズニーランドなど企業で実際に指導されていることをもとに、患者さん（お客さん）に接するときの心得などをご指導いただきました。これからも、患者さんが安心して治療に専念できるようスタッフ一同努力していきたいと思っております！



防災訓練



11月1日（水）に防災訓練を行いました。今回は、出火を発見して防災センターへ連絡をする方法。また、消火器の使い方などを防災センターの方を迎えてご指導頂きました。火災時に、冷静に状況判断できるよう、定期的にこのような訓練をしておくことが大切です。

